

## ハエが孢子を運ぶスッポンタケ

萬城の滝の周辺には野生のキノコが非常に多いが、その何割が食べられるキノコか分からない。一株のキノコで20リットルのバケツが一杯になってしまいそうな大きなものもある。「キャンプの折に酔いにまかせて食べてみたらどうだろうか？ロシアルーレット方式がいいかもしれない」なんて怖いことはできないが、毒キノコを見分けられる先生方には頭が下がる。

11月2日、丸いのとどこか親近感を感じずグロテスクなキノコがキャンプ場体験棟北側の草の中にいくつも生えていた。後で正解だったことがわかるのだが丸いのが成長してグロテスクな形になるのだろうと想像して写真を撮っておいた。そのブログ見た友人からの連絡で「スッポンタケ」であることがわかった。



インターネットには非常に便利なツールが用意されていて、一般的な内容ならば即座に調べることができる。読者が編集を加えて成長していく Wikipedia という辞書を専ら利用している。

それによると、スッポンタケ科(Phallaceae)は臭い匂いを放つキノコの仲間である。スッポンタケ目に属する。生殖方法は、空気に乗せて孢子を拡散させる他のキノコと異なっている。この科のキノコはハエを引き付ける死体のような匂いを放つ粘着質の孢子を最上部に作り、ハエに孢子を媒介させるのである。スッポンタケ科のキノコは球の形の「卵」と呼ばれる状態から成長するが、この段階ではまだ臭くない。

このキノコは若い「卵」の状態のうちなら食べられるが、強烈な匂いに気分を悪くする人もいる。しかし油で揚げると魚のような味になる。・・・と、書いてある。

そうか、食べられるのか・・・と何でも答えてくれるインターネットに質問を試みた。「スッポンタケの食べ方」はどうするのか書き込んでみたが残念なことに回答は得られなかった。